



通信

HP 学校だより
R7.11.26
NO.28
文責 伊藤美佳



マラソン大会に向けて

27日（木）は校内マラソン大会です。子どもたちは大会に向けて「自分の目標」をたて、その目標に少しでも近づこうと努力しています。

学芸会が終わって、チャレンジタイムが本格化してくると同時にインフルエンザが猛威を振るい始めました。そんな中、下校指導に行くと、ある子が「今日も学校に走りに来るね」と伝えてくれました。「マラソン大会に向けて頑張ろうと思っているんだね」と言うと、頷いて決意を伝えてくれました。それから、毎日のように「今日も来るね」と声をかけてくれました。一緒に走るわけでも、見守ってほしいからでもなく、本人の決意を伝えてくれていることに心からエールを送りたくなりました。

この子にとって、目標は自分の望む順位かもしれません。誰かを追い抜くことかもしれません。しかし、自分で目標をもって、毎日こつこつと取り組めることが、すでに「金メダル」だと思いました。当日は、どんな結果が待っているか分かりません。しかし、そこまでに努力した分の力は、その子の身についていて、これからも支えてくれることでしょう。

体力だけでなく、気力の面でも成長した子どもたちの姿をぜひ見ていただき、大きな声援をお願いします。

外部講師の方々をお迎えして

先週から今週にかけて、多数の外部講師の方々が来校され、子どもたちにとって有意義な学びの時間をもつことができました。県の「ものづくり魂浸透事業」では、トヨタ車体の方々が「からくり改善」について、実際に現場で活用されている物を見せ、体験も入れて説明してくださいました。町の音楽宅配では、プロの音楽家（バイオリン、ピアノ）の方々が、間近で演奏してくださいました。豊田高専の出張授業では、液体窒素を使っての実験を見せてもらいました。子どもたちが、普段は見たり聞いたり触ったりできないことを、外部の先生方をお招きすることで体験、経験できる幸せを感じ、学びへの意欲が高まってくれることを期待します。

バナナの花ってどれだろう

バナナの葉、花、実を地域の方からいただきました。1枚が2mくらいある長い葉やボールのような大きな花、上の方には小さなバナナの実がついています。子どもたちは「小さいけどバナナだ。食べられるかな」と触ってみたり、「これが花なんだ。花のところにバナナのもとがあるよ」と観察したりしていました。栽培活動をたくさん行っている豊坂っ子でも、不思議がいっぱいです。本や映像で見たことがあったかもしれません。しかし、実際に見て、触って、試せるなんて、豊坂っ子は幸せだなと感じました。

